

「現地メディア向けプレスツアー（スポーツ関連）を行いました。」

#### 在ウガンダ日本国大使館

2月11日、在ウガンダ日本国大使館は、現地メディア向けプレスツアーを実施しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、ウガンダの政府関係者、知識層及びウガンダ国民への情報発信を強化するためのものです。このツアーは、2020年に我が国が東京オリンピック・パラリンピックを開催することから、「スポーツ」分野において、我が国が官民をあげてウガンダにおいて実施している様々なスポーツ案件を紹介するものとして企画しました。

プレス一行は、カンパラ近郊のガヤザを訪れ、「平成24年度草の根文化無償資金協力：青少年育成のためのグラウンド整備計画」によって整備された野球場を見学するとともに、野球チームとして当地で活躍するJICAボランティアの活動を視察しました。

#### 日本の支援で整備された野球場



同地では、青年海外協力隊員及びシニアボランティアがウガンダの野球ナショナルチームのレベル向上のために活躍しています。ウガンダ野球協会から日本への感謝のメッセージが伝えられ、デモンストレーション・ゲームが披露されました。また日本でトレーニングを受けた選手から

は日本語による挨拶がなされました。

### インタビューに答える亀田大使



プレス一行は、その後マケレレ大学のグラウンドに案内されました。そこでは、当地のマケレレ大学の元学生でウガンダ・ゲートボール協会会長、ロバート・バカゼさんが、日本のゲートボール協会に猛アプローチをして、昨年日本に招待され、ゲートボールを習得してきたことを披露しました。ウガンダ・ゲートボール協会の関係者によるデモンストレーション・ゲームは、このゲームに初めて出会ったメディア関係者からも大きな注目を集めました。

### ゲートボールのデモンストレーション・ゲーム



## 亀田大使及びウガンダ・ゲートボール協会への取材



プレスツアー後、各紙では次々と我が国開発協力の取組及びスポーツ分野での貢献が報道され、14日及び15日の紙面では「ウガンダ野球チーム、2020年オリンピックを視野に」等と銘打たれ、我が国のスポーツ分野における貢献が大きく取り上げられました。加えて、19日にはロバート・バカゼさんのゲートボールの普及活動に関する特集記事も掲載されました。

多くの市民が目にする新聞各紙で我が国の開発協力事業やスポーツ分野における貢献が取り上げられることで、ウガンダ国民による我が国に対する理解がより一層深まったのではないかと思います。

### 関連リンク（外部サイト）

プレスツアー後にリリースされたニュー・ビジョン紙のウェブ記事

（英語）Ugandan Baseball Team Targets 2020 Olympics  
（邦訳：「ウガンダ野球チーム、2020年オリンピックを視野に」）

[https://www.newvision.co.ug/new\\_vision/news/1471029/uganda-baseball-team-target-2020-olympics](https://www.newvision.co.ug/new_vision/news/1471029/uganda-baseball-team-target-2020-olympics)